

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・7〉 いわき市立 藤間 中学校				
＜実施日＞	平成 27年 11月 12日 (木)				
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 (2) 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ()				
＜実践内容＞	学 習 過 程				
段階	学習活動	時間	形態	○教師の働きかけ・留意点	□評価
始めの活動	1 テーマの意識化 (1) 放射線関係の写真を見せる。 (2) 放射線について知っていることを発表する。 (3) 本時の課題をつかむ。 放射線について学び、身を守る方法を考えよう。	5	一斉	○写真を見せて、共通しているものは何か発問する。 ○ワークシートを配布する ○生徒から放射線についての知っていることを記入・発表させ関心を高める。	
中心的な活動	2 放射線について学び・考える (1) 放射線についての基礎的な知識を学ぶ。 (2) 放射線から身を守る方法について個人で考える。 (3) 考えを班で共有する。 (4) 班ごとに話し合いの内容を発表する。	10 5 10 10	一斉 個別↓班	○T2が放射線について説明する。 ○付箋に自分の考えをまとめてから話し合いをさせる。 ○ホワイトボードを活用し、まとめさせる。	放射線についての基礎的な知識を身に付けることができるか。(観察) 放射線から身を守る方法を考え、理解することができたか。(観察・発表)
まとめの活動	3 本時のまとめをする。 (1) 本時で学んだことをクイズで復習する。 (2) 本時のまとめをする。 (3) 本時の感想を発表する。	10	一斉	○何人かを指名し、発表させる。 ○放射線の利用と基準値を超さなければ安全に生活できることを述べる。	本時を振り返ることができているか。(発表・観察)
＜成果＞	<ul style="list-style-type: none"> 放射線・放射能・放射性物質などの専門用語の意味を理解することができた。 放射線から身を守るための手立てを話し合いながら、考えることができた。 				
＜課題＞	<ul style="list-style-type: none"> 放射線のデメリットだけでなく、メリットにも目を向けさせる指導も必要。 自分たちで放射線について知ろうとする姿勢の育成。 学んだことを実生活に生かそうとする姿勢の育成。 				
資料作成担当者職 (教諭) 氏名 (松村 遼佑)	学校電話番号 (39-2155)				

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)